

# 校長室だより

## ☆教育目標☆

自ら考え判断し、進んで行動できる富中生  
＜生活心得＞ 時を守り 場を清め 礼を正す  
令和2年2月26日発行 No.21  
富岡市立富岡中学校 校長 中村 喜雄

## ☆☆夢指数・・・☆☆

私たちは苦しむために生まれてきたのではなく、  
いのちを輝かせて生きて、  
魂を向上させるために生まれてきたのです。  
だからこそ、『いのち』が喜ぶ仕事をしなければい  
けません。  
自分自身が輝いてこそ、  
周りの人たちも幸せにできるからです。  
・・・

若い人に『伝えたいメッセージ』より

数年前、日本青少年研究  
所による米・中・韓国及び  
日本の高校生を対象とした  
意識調査が行われました。  
その調査結果の中で、日本  
の高校生が、「偉くなるよ  
りのんびりと生活したい」  
という傾向が高いことが明  
らかになりました。そのこ

とから、何だか複雑な思いをもつとともに、我が国の将来に不安を抱く人も多かったのではないのでしょうか。結果分析・対策等、そう簡単なことでは無いと思いますが、ある方が述べられていた“今、日本の大人も子どもも元気がない。原因は夢指数（Dream Question）が低下してしまっていること”に納得させられます。実際、日本の若者は夢や志をもっていないと感じる人も多いと思いますし、大きな夢を描きにくい社会になってしまっていると考えている人も多いようです。

以前IQ（知能指数）偏重時代が長く続きました。その後、EQ（心の知能指数＝感情指数）の重要性が叫ばれ、現在ではSQ（自分自身を正しく理解する指数）とかNQ（人間関係指数）というものが注目を浴びるようになってきています。生きて働く知識は大切です。感情をコントロールできることも大切です。また、正しく自己認識し良好な人間関係を構築できることも大切です。しかし、すべては夢から始まると思います。そして、だれもが自分自身を輝かせるためには、夢指数（DQ）を高めることが何より重要だと考えます。ただ、DQは単に夢を描く力ではなく、夢の実現に向けて具体的に自己課題をクリアしていく力でもあるとの認識も必要ではないのでしょうか。

そう考えてみると・・・

$$DQ=IQ \times EQ \times (SQ+NQ)$$

と言えるかもしれません。

現在起きている様々な社会の出来事から、大人を含め子どもや若者のDQアップについて一人一人が真剣に考え行動していくことが求められているように感じます・・・。





